学校番号	２１２

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文字を素材とした表現や鑑賞の活動を中心とし、さまざま題材について、自身の構想をもとにした表現を展開していく。

・「漢字仮名交じりの書」の学習では、自らの思いや感動を表す語句を選んで表現を構想し、漢字や仮名の古典の学習を生かして芸術的な表現を高めるとともに、実用的な表現も高めていく。

・「漢字の書」の学習では、さまざまな書体や書風の古典にふれることによって鑑賞と表現の能力を高め、それらを創作に生かしていく。

・「仮名の書」の学習では、さまざまな書風の古典にふれることによって、美しさや表現方法を学び、表現技術を高め、それらを創作に生かしていく。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・さまざまな書の美に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。 ・多様な書法を意欲的、主体的に学び、古典の美と価値を感じとろうとしている。	・古典の特徴を捉え、習得した技法を自身の表現活動に生かしている。 ・感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構成し、表現を工夫している。 ・感性や鑑賞能力を高めるための工夫をしている。	・自らの意図に基づいて構想し、創意工夫のある表現の技能を身に付け表している。 ・書の学習で習得した表現の能力を生かし、創造的な表現の技能を身に付け表している。 ・目的や用途に応じた書表現をするために、効果的な表現の技能を身に付け表している。	・書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の伝統や文化を理解し、その良さや美しさを深く味わっている。 ・自身や他者の作品を客観的に観察し、その特質を的確にとらえ、自己の創作活動に生かすことができる。
評価方法	・学習活動への参加状況や態度 ・学習プリント ・創作プリント	・作品 ・学習プリント ・創作プリント	・作品	・学習活動への参加状況や態度 ・鑑賞プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	**漢字の書の学習**							
	篆書の古典に学ぼう	・篆書古典の臨書学習により基本的な点画や線質の表し方を学び、特徴を理解する。 「泰山刻石」 「石鼓文」 「甲骨文」	○	○	○	○	a:篆書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。篆書の字形や用筆の特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:様々な篆書の書風の違いを理解している。篆書の字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 学習プリント 作品
	篆刻に学ぼう	・姓名印を刻し、今後の作品に押印する。	○	○	○	○	a:篆刻に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。印の歴史について理解しようとしている。 b:篆刻の手順に従い、姓名印の表現を工夫している。 c:篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を刻すことができる。 d:篆刻の意義や手順を理解している。	観察 学習プリント 作品
	隷書の古典に学ぼう	・隷書の変遷を学ぶ。 ・隷書古典の臨書学習により、特徴を理解し、用筆法・運筆法を学ぶ。 「曹全碑」 「乙瑛碑」 「居延漢簡」	○	○	○	○	a:隷書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。隷書の字形や用筆の特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:様々な隷書の書風の違いを理解している。隷書の字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 学習プリント 作品

1学期	漢字の書の創作をしよう くらしの中の書	・自ら語句を選び、各書体の特徴を生かした表現を工夫し、うちわ作品を制作する。用具・用材や紙面構成などを工夫する。 ・作品がより引き立つように彩色などを工夫しうちわに仕立てる。	○	○	○	○	a:漢字の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に到るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。また、仕立てにより作品を美しく見せられることに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる b:古典に基づく表現を工夫している。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫している。 c: 古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現することができる。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫することができる。 d:古典に基づく表現と個性的な表現について理解している。	観察 創作プリント 作品
	作品鑑賞	・作品の相互鑑賞	○			○	a:書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント
2学期	草書の古典に学ぼう	・草書の変遷を学ぶ。 ・草書古典の臨書学習により、特徴を理解し、用筆法・運筆法を学ぶ。 「十七帖」 「書譜」	○	○	○	○	a:草書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。草書の用筆や運筆などの特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:様々な草書の書風の違いを理解している。草書の用筆や運筆の特徴を理解している。古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 学習プリント 作品
	コンクールに挑戦しよう	・漢字、仮名などから各自が選択して、コンクール作品に取り組む。	○	○	○	○	a:コンクールの作品制作に意欲的に取り組んでいる。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:書体や書風、字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 作品

2学期	刻字に学ぼう	・自ら語句・書体・書風を選び、各書体の特徴を生かした表現を工夫し、刻字作品を制作する。 ・全体構成、刻し方、彩色なども工夫する。 ・互いの作品を鑑賞し批評し合う。	○	○	○	○	a:刻字に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。刻字の表現について理解しようとしている。 b:刻字の手順に従い、全体構成、刻し方や彩色など、刻字の特徴を生かした表現を工夫している。 c:刻字の準備と手順について理解し、特徴を生かした表現をすることができる。 d:刻字の意義や手順を理解している。	観察 学習プリント 作品
	作品鑑賞	・作品の相互鑑賞	○			○	a:書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント
3学期	**仮名の書の学習**							
	仮名の書の美を知ろう	・仮名の書の変遷を学ぶ。 ・平安時代の仮名の書の美の特徴を理解する。	○			○	a:仮名の書の変遷や周辺文化に関心を持ち、積極的に理解しようとしている。仮名の書が、時代や周辺文化と深く関わりながら変化してきたことを理解しようとしている。 d: 仮名の書の変遷や周辺文化について理解している。仮名の書が、時代や周辺文化と深く関わりながら変化してきたことを理解している。	観察 学習プリント
	仮名の古筆に学ぼう	・古筆の学習により、仮名の書の特徴を理解し、用筆法・運筆法を学び、表現形式について理解を深める。 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 「寸松庵色紙」	○	○	○	○	a:古筆の美に関心を持っている。古典の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b:線質や字形、紙面構成の特徴を理解し、書風を生かした表現を工夫している。 c: 線質や字形、紙面構成の特徴を理解し、書風を生かした表現をすることができる。 d:線質や字形、用筆・運筆の特徴、表現技法を理解している。	観察 学習プリント 作品
	仮名の書の創作をしよう	・自ら語句を選び、仮名の書の特徴を生かした表現を工夫する。	○	○	○	○	a:仮名の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に到るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:古典に基づく表現を工夫している。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫している。 c: 古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現することができる。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫することができる。 d:古典に基づく表現と個性的な表現について理解している。	観察 創作プリント 作品

3学期	漢字仮名交じりの書の学習							
	・漢字仮名交じりの書とは ・思い・ことば・書	・日本語の表記の変遷を学び、漢字と仮名が調和した書表現について考える。 ・自らの思いや感動を表現する語句を選び、表現を構想する。	○			○	a:漢字仮名交じりの書の変遷や周辺文化に興味・関心を持ち、積極的に理解しようとしている。漢字仮名交じりの書の表現に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に到るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 d:漢字仮名交じりの書の変遷や周辺文化について理解している。書表現により、自らの思いを他者に伝えることができることを理解している。	観察 創作プリント
	古典に学び表現を工夫しよう	・自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。	○	○	○	○	a:漢字や仮名の古典により学んだ表現技法を、積極的に漢字仮名交じりの書の表現に生かそうとしている。 b:古典に基づく表現を工夫している。全体の構成を工夫している。 c: 古典に基づく表現や、個性的な表現、全体の構成を工夫することができる。 d:古典に基づく表現と個性的な表現について理解している。	観察 創作プリント 作品
	・自分らしい表現を求めて ・表現を楽しもう	・自己の意図やねらいを達成するための表現を工夫する。 ・用具・用材や、作品の形式、紙面構成などを工夫し、作品を制作する。 ・相互に批評し合う。	○	○	○	○	a:自己の意図に基づき、用具・用材の特性を生かして様々な表現を試みることに、意欲的に取り組んでいる。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。用具・用材の特性を理解し、様々な表現を工夫している。 c: 感興や意図に応じた表現を構想し、工夫することができる。用具・用材の特性を理解し、様々な表現を工夫することができる。 d: 用具・用材の用い方や構成の工夫などにより、さまざまな表現が可能であることを理解している。	観察 創作プリント 作品
	作品鑑賞	・作品の相互鑑賞	○			○	a:書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。